



議会だより

あさぎり

暑中お見舞い申し上げます



夏休みだ!! “ラジオ体操”

須恵 旧覚井



眠たいけど頑張って

町民の声	議会のうごき	一般質問	当初予算
14P	10P ～ 13P	6P ～ 10P	3P ～ 5P

主な内容

第二回定例議会

平成十九年第二回あさぎり町議会定例会は、六月十三日から二十日迄、八日間の日程で開催されました。

初日に、初当選の愛甲町長の施政方針表明。初日と二日目にかけて一般質問が行われ、町議会始まって以来最多の傍聴の方々で賑わい一階に特別席を設置して対応しました。

一般質問は計九名が登壇し、選挙中に発表されたマニフェストへの取り組み等を新町長に質しました。

上程された議案は、専決された平成十八年度一般会計及び特別会計の承認案件六件、条例案件四件、平成十九年度一般会計及び特別会計補正予算案件七件、平成十八年度繰越明許費の報告案件三件、教育委員及び監査委員の任命・選任の同意案件三件等の計二十四件のほりまりました。

二十四件中二十三件は原案通り可決しましたが、教育委員の人事案件一件が、反対多数で否決となりました。

元気の良い町づくりを実現！

愛甲町長が施政方針表明

今回の町長選挙で初当選した愛甲一典町長が、定例会初日に発表した平成十九年度の施政方針を要旨。

今、地方の市町村は、国・県の財政難から、補助金が減額され、町予算は平成十五年度の約百二十三億円から十八年度は約九十五億円へ縮小。

一方で若者は仕事が無く町外へ出て、少子高齢化が更に進み、農林業や地場産業の所得も伸びず、厳しく難しい事ばかりである。

しかし、球磨人吉には、豊かな農産物や球磨川を始め数多くの観光資

源があり、独自の文化と自然と人情豊かな土地柄であるこれらの強みを活かしながら町として独自の取り組みを加え、若い人達が残れる、元気の良い町づくりを如何に実現していくかが勝負であり、なんとしてもやり抜かねばならない。

その為にはとして、五項目に渡って施政方針を詳述。選挙公約についても、六項目の基本的な取り組みを説明。

「将来の子供達の為に、町をあげて夢を共有し、その実現に向かって元気の種を蒔いて行きましょう。」と結んだ。



答弁中の愛甲町長

請願書を受理

○あさぎり町教育委員会が決定した「町内一中学校にする事が適当」、「一校とする場合の新しい学校は、上中学校を中心とした学校設置が望ましいこと」の内容について、「地域を交えた議論が尽くされているとは言えず同意できない。」等の理由で、「あさぎり町中学校統合問題を考える会」、代表遠山好勝氏より中学校統合に関する請願書が提出され、議会はこれを受理した。

あさぎり町中学校統合調査特別委員会を設置

○議会は、中学校統合に関する請願の受理に伴い、委員二十一名をもってあさぎり町中学校統合調査特別委員会を設置した。

また、委員長に浦本秀正議員、副委員長に鏡興徳議員を選任し、今後審議していく事になる。



骨格予算に肉付け

24億671万5千円を追加し、 105億1千651万2千円に

19年度一般会計補正予算(第1号)を可決!!

主な補正 内容と質疑

総務費



- 一般管理費

八〇六万円

(説明) 職員手当等

- 基金費

二千九万円

(説明) 財政調整基金積立金

- 税務総務費

△七〇二万三千元

(説明) 職員手当の減額

民生費



- 老人福祉費

二千六八六万四千元

(説明) 職員手当等(敬老年

金一千三三六万五千元

円含む)

- 国民健康保険事務費

二千三七二万八千元

(説明) 国民健康保険特別会
計繰出金

- 母子福祉費

三〇万円

(説明) ひとり親家庭等医療費

(母子家庭からすべての
ひとり親家庭に拡大)

- 保育所費

五九万円

(説明) 第二保育所工事、清掃
費、所長研修旅費等

- 救護施設総務費

六七七万円

(説明) 職員手当等

- 保健衛生総務費

三億六千四九九万四千元

(説明) 公立多良木病院改築
負担金三億六千九九
九万九千円を含む。

- 環境保全費

△七八〇万一千円

(説明) 職員手当等の減額

- 簡易水道費

△二五四万一千円

(説明) 簡易水道事業会計繰
出金の減額

農林水 産業費



- 農業振興費

一千九百九十七万二千元

(説明) 農業共済掛金や農
業施設(機械)整備
事業等への一部助成

一千九百八〇万円を含む

- 農業生産総合対策事業費

二千四六一万一千円

(説明) 経営構造対策事業や
い草技術実証事業等
補助金

- 畜産事業費

八七八万九千円

(説明) 優良牛導入、移植推
進事業等への一部助成

- 農地費

七九九万八千円

(説明) 宮原地区用排水路整
備事業・石坂地区河
川工作物整備事業へ
の負担金

- 担い手育成基盤整備事業

五千五百七十六万三千元

(説明) 県営担い手育成基盤
整備事業負担金(継
続事業)

- 中山間地域総合整備事業費

三千三八〇万円

(説明) 中球磨地区中山間地
域総合整備事業負担
金(継続事業)

- 清願寺ダム管理費

〇%

二七七万一千円

(説明) 清願寺ダム防災事業負
担金(平成十九〜二十
三年の新規事業で清
願寺ダムの堆砂除去等
の防災事業負担金等)

(問) 清願寺ダムの堆積土砂
対策事業内容は。

(答) 十九年度の町の負担金は、
六%である。全体事業費
は一八億三千七〇〇万円
程かかる見込み。二十三
年度までの五ヶ年事業計
画である。

(問) 農地・水・環境保全向上対
策事業

一千二百九十一万円

(説明) 熊本県農地・水・環
境保全協議会負担金

(問) 国、県の補助金はいく
らか。

(答) 全体の予算は五千一六
三万八千円で、二十五%
が町の負担、国が五十%、
県が町と同じく二十五%
である。

- 林業振興費

一億二千八百八十七万七千円

(説明) 企業誘致関連補助金
二億八千三三二万五
千円(国・県補助一〇
〇%のトンネル補助金)



企業誘致予定地

(説明) 造林委託料外

商工観 光費



●観光費

七三六万円

(説明) 花菖蒲まつり・夏祭り・
夢祭りへの助成

●定住促進費

一千二〇〇万円

(説明) 企業誘致インフラ整

(問) 熊本製材とあさぎり町
の関わりについては、
行政として何か今後と
も手当をしていくこと
が必要なのか。

(答) 工場が完成した暁には、
町は何ら関与しないこ
とになっており、補助
金等の交付とか、そう
いうものは一切ない。

(問) 熊本製材工場が進出し
たときに、最初の計画
説明では、地元自治体
には負担をかけないと
の事だったが。

●林道維持費

五〇〇万円

(説明) 工事請負費

●林道新設改良費

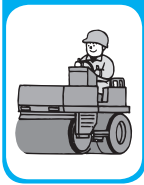
五千二百五十六千円

(説明) 林道榎田大川筋線・
林道薬師谷線の舗装
工事

●緑資源機構

七七三万八千円

土木費



●道路維持費

一千万円

(説明) 道路維持委託料四ヶ

所

●道路新設改良費

一億一三〇万円

(説明) 工事請負費・補償費

等

●道路改良費

一億九千九百七十七千円

(説明) 町道五路線の改良・
舗装(補助事業)

●住宅建設費

三千八百二十七千円

(説明) 若宮団地二戸を建替

●下水道費

一千二〇〇万六千円

(説明) 下水道事業会計繰出
金

消防費



●非常備消防費

一六五万円

(説明) 消防団員退職報奨金

掛金外

●消防設備費

三千四百二十五万七千円

(説明) 防火水槽四基・小型
動力ポンプ二台・積
載車二台・消火栓等
を整備

(問) 積載車や小型ポンプの
買い替えはようになって
いるのか。

(答) 小型ポンプの積載車が二
台、小型ポンプ二台あわ
せて九三〇万円。経過
年数の古い順から更新
していく。今回は二十一
年を経過している。

(問) 防火水槽の修繕料が
一三九万七千円計上さ
れているが、地下タン
クなのか。

(答) 防火水槽の漏水に伴う
補修工事。三基とも地
上タンク

一千二百一十八千円

(説明) A L T 招致事業旅費・
校舍耐震診断業務委
託(上中・免田中の
校舍七棟の耐震診
断業務委託料として
一千二百一十八千円)

(問) 学校耐震診断は中学校
統合問題に関して非常
に重要な資料になるが、
いつまでに結果がでる
のか。

(答) 早くとも六カ月位はか
かる。

(問) 他の学校については二
次診断の必要はなかつ
たのか。

(答) 一次診断については
十八年度ですべて終
わっている。順次予算
をつけてやっていく。

●小学校管理費

二八六万一千円

(説明) 須恵小学校の給食セ
ンター調理室を改修
し、家庭科室に活用。

●中学校管理費

二千一〇六万九千円

(説明) 旧上学校給食センタ
ー解体工事・岡中防球
ネット修理等

●事務局費

一千一〇二万二千円

(説明) 職員手当等

教育費



●教育振興費



家庭科室に改修予定の須恵小学校給食センター

公民館費



●公民館費

二三五万一千円

(説明) 上地区神殿原分館用
地一、一三三・七九㎡
買取等

(問) 単価が、m²あたりいくらか。
(答) m²あたり二千円の単価
で予定している。

●文化財保護費

一〇二万円
(説明) 伝統芸能継承補助金
(十四団体)・指定文
化財修理費・補助会
(阿蘇釈迦堂の防犯対
策費等)

災害復旧費



●林道施設災害復旧費

八〇六万八千円
(説明) 林道黒原線の災害復
旧工事費。

(問) 伝統芸能継承補助金が
六三五万五千円上って
いて、十四団体あるが、
平等に分けてやるのか。

(答) 国の選択している団
体は五万円の一団体。
十三団体については一
団体あたり四万五千円
を計上している。

(問) 指定文化財修理費補助
金が三七万五千円上っ
ているが、釈迦堂の防
犯対策としてはどれぐ
らいの金額でどの様な
設備をされるのか。

(答) 釈迦堂には警報装置を
設置しているが、それ
だけでは不足する為盗
難防止のためのドアの
設置と格子戸の設置を
予定している。

平成 19 年度 第 2 回定例会特別会計補正予算

会計名	補正額	補正後の総額	
国民健康保険	4,493 万円	22 億 993 万円	※老人医療費の増加により老人保健医療費拠 出金 4,293 万円増など
介護保険	370 万円	13 億 6,096 万円	※介護サービス会計への繰り出しなど
介護サービス	303 万円	3,728 万円	※職員異動による人件費調整など
簡易水道事業	3 億 5,753 万円	7 億 1,569 万円	※上川北地区建設事業など今年度より浄水場 建設等に着手する予定
下水道事業	4 億 6,590 万円	12 億 1,024 万円	※下水道建設費 4 億 6,165 万円など



国保特別会計繰り出し金については、平成 18 年度より上乗せの繰り出しは行わない方針のもと、財政安定化支援金と事務費分のみとなる為、国保会計の収入不足分補填は国保特会基金取り崩しでの対応となり、今後の国保運営については医療費抑制対策とともに国保税率の改正も視野に入れた慎重な検討が必要である。

◎町が元気を出すための取り組みについて

職員が元気になることが一番



田原 健一 議員
(免田)

問 〓 仕事を増やすための取り組みについて
町長 〓 町長自ら直接オーナー！ 創業者とのトップ外交や近隣あるいは県内の社長とも向き合っていく。更には市内にプロジェクトを作るとともに郡内町村とも情報を共有して進

◎小学校六年生までの医療費無料化は実施可能か

予算の目途を付け実施したい



永村 修一 議員
(免田)

問 〓 あさぎり町を選挙期間中、隅から隅までめぐられど様の感じられたか。
町長 〓 予想していた以上に少子高齢化の波が進んでいると感じた。そして、高齢者の方が本当に早い速度で増えているので、若い人がこの町に残ってもらわ

めていく。

問 〓 役場職員の人達が持てる力を最大限に発揮できる職場環境を作っていくための取り組みについて

町長 〓 すべての取り組みの成功の鍵は「人」にある。あさぎり町が元気になっていくためには役場の皆さんが元気になることが第一歩で、その根幹は職員の皆さんが自分の意見や提案をどんどん出し合える環境にしていくことだ。また、メールや課長会を通して町長の行動や考えを知ってもらい情報の共有化を図っていくことも大事。他方、役場内外の整理整頓、美化について

きたと一番に感じた。

二つには、財政も厳しいので費用対効果を見極めながら民間企業でやってきたことを役立てて仕事ができるのではないかと考えた。

問 〓 「マニフェストで子育て支援の強化をします。小学校六年生まで医療費を町が助成する方向で検討します。」等々、検討しますが色々な施策の中で言われているが、検討した結果できませんでは、町民は納得しない。医療費の無料化は実施できるのか。
町長 〓 もちろん検討するわけだが実現に向けてやるということに進む。ただ難しい課題も多分あると思うが何とか予算の目途

も取り組んでいく。

問 〓 地域が活性化するための取り組みについて

町長 〓 隣近所のふれあいとか助け合いにより地域が元気になり、ひいては全体的に元気になっていただきたい。地域の伝統文化や人のコミュニケーションも含めた、いろんな取り組みに対して活動をやっていただけるように支援したい。また、地域担当職員を配置することを含め、支所機能の見直しや地域審議会等の意見も聞いて検討し、次のステップとして実施していく。
問 〓 子育て支援の取り組みについて

をつけて実施できるように進めたい。

問 〓 小学六年生まで医療費の無料化をすればどれ位の予算を必要とするのか。

健康福祉課長 〓 学校に入ると年を追う事に元気になり病院に行く回数が少なくなるので、〇〇〇万円位あれば足りると考えている。

問 〓 医療費の無料化等によって財政が厳しくなり町民税や固定資産税等を上げざるを得なくなるのではと心配しているが、財政調整基金の積み立ては、十八年度末では十一億円余と思うが間違いないか。
総務課長 〓 間違いない。

町長 〓 小学校六年生まで医療費を無料にするという公約の実現に向けて取り組んでいく。一方、病院に行かず頑張った子供たちについては何らかの形で評価したい。また、教育委員会と協力し、小中学校、幼稚園も含めて早い段階から夢を持って前向きに生きていける子供になってもらうため、総合的に取り組んでいきたい。



問 〓 夕張市のように一時借入金を利用して単年度の財政運営をするようなことはしていないか。
総務課長 〓 そのような事はしていない。

問 〓 十九年度は、基金の取り崩しは計画されているのか。
総務課長 〓 十九年度一億四千万円を積み立てる予定。今度の肉づけ予算で同額の二億四千万円程度を取り崩すので実質の目減りはない。

問 〓 中期財政計画は出来ているのか。
総務課長 〓 国の財政が目まぐるしく変わるので、現在は中期財政計画をお示しできるものは持っていない。

◎愛甲町長の政治に懸ける基本姿勢について

選挙は選挙、今後は一緒に頑張りましょう



奥田 公人 議員
(岡原)

問一 四月二十三日の人吉新聞に愛甲町長祝勝会の記事があり、『町長選はこれで終わり、あすからは犬童氏を応援した人、私を応援した人とも関係ない。大事なのは旧五ヶ町村の人達の思いをあさぎり町で一つにすること。』と述べられ

◎町の「元気」とは

経済的元氣を取り戻す事



沢田 勇一 議員
(上)

町長選挙当選をお慶び申し上げ、一初心忘れる事なかれ』という言葉をご贈らせてもら

ており、私は大変感動した。あさぎり町が一本化し、ましまりのある町づくりを実現する上では早急に派閥の溝を解消し、選挙による痼りを一掃する事が最優先と思うが。

町長 新聞記事にあったとおりの話をさせていただいた。その思いはいささか今も、これから変えない。私に応援していただいた人、今回は応援していただかなかった方も一緒に、このあさぎり町を元気にしようということ、今度は次にステップの仲間として意見をどんどん出し合いながら、力を出し合ってやっていきたい。いろいろな人の輪を

町長 仕事場を確保する事で町に経済的元氣を取り戻したい。町民が元氣で地域発展に取り組みの盛り上げたい。

問 企業誘致の目標が五社以上とあるが実現に向けての考えと、議会に協力を求めるとすればどの様な事があるか。

町長 企業誘致プロジェクトを設置し、あさぎり町を中心とする広域的誘致活動、トツプ外交による交渉、地元理解、そして議会には用地確保等の協力を含め共通認識に立ってバックアップをお願いし、全力で取り組みたい。

問 全国小中学校学力テスト

どうやって広げるかが大事な事。そういう気持ちで選挙は選挙、今後は一緒に頑張りましょうという事でやっていきたい。

問二 少子化対策や高齢化対策を実施する上では、若者の定住促進が最重要課題と考える。又、民間企業の誘致を検討されていると聞くが、実現可能かを問う。

町長 私の名刺にも『若者が残れる町づくり』を刷り込んでおり、私は一貫して表題取り組みの頭においてやっていきたい。現実には仕事の場をどうやって増やすかが一番の取り組みだと思っている。プ

実施の調査結果は

教育課長 結果は九月月上旬に公表される。十八年度熊本県学力調査では、当町の小学校では教科の基本的内容理解は定着の状況にある。それを表現する能力が課題。中学校では各教科とも県平均の定着率を上回っている。

問 研究指定校にすると活気がでると思う、町教委として指定する考えはないか。

教育課長 町では心の教育、学力向上、健康教育を指定。今後は学力は国語、専門は食育、発達障害特別支援等に取組みたいが、新教育基本法が具体的に示されてから検討

プロジェクトをつくり地元、熊本県、それ以外に時間をとって出かけて行くなどの取り組みをしていく。

問 若い人達の中にはあさぎり町に住みたいと願っている希望者が多いと聞いている。玉名郡玉東町では賃貸住宅などが不足する為、近隣に流出していると分析、財政状況が厳しいため、民間が建てた住宅を町がリースする形で町営住宅整備を決めていると聞く。この様な取り組みは本町では適用できないか。

町長 参考にさせていただきたい。一つの選択肢じゃないかと思う。

する。

問 百年の大計に立った教育の確立のため、教育行政への町長の思いを尋ねる。

町長 教育は非常に大事、関係者と共に、特に郷土愛、自然、命を大事にし、知恵を出す事等について先生方と取り組みたい。

問 大阪でジェットコースター事故があったが町内の公園、学校のプール、遊具施設等の保守安全点検は万全か。

町長 総点検を指示し報告させている。(関係課長から安全点検済について説明有り)

◎前町長と財政運営の違いは

債務負担行為も含めすべてが町の借金と位置づける

宮原 盛幸 議員
(岡原)



問 現在のあさぎり町は基金と起債の比率が、あまりにもひどい。これは国や県が合併後のあさぎり町を考えると、幾らでも起債を認め、反面、基金の額を少なくした事に他ならない。この事を前提にして

◎食糧、農業、農村についての基本的な考え方について

地方が国土を守っている。農業には「競争」と「保護」両方が必要

小見田和行 議員
(岡原)



二〇〇五年の農林業センサスによると、あさぎり町の農業就業人口は二千三百五十四人中六十才以上が五十五パーセント、二十九才以下が六パーセントとなっている。食糧の自給率もカロリーベースで四十パーセントとなっている。

長期の財政計画を抜本的に見直す必要がある。執行部も危機感を持ってもらいたい。ところで愛甲町政は基金、起債、債務負担行為、臨時財政対策債について、どう考え、どう位置づけ前町長とはどう違うのか。

町長 〓私は債務負担行為も含めて町の借金は起債の合計が二百三十五億円、債務負担行為が十五億円で合計二百五十億円を町の借金と位置づけている。

問 〓総務課長は三月定例会で債務負担行為は起債と親戚のようなもの、また臨時財政対策債についても私と見解の違いを。

輸入農産物の増加、農畜産物価格の低迷等で、後継者不足。高齢化は拍車がかかっている。若者をこの地に引き止めるため公約に企業誘致を掲げられておられるが、町の活性化に向けて大いに期待している。

問 〓いつ頃に、雇用人員はどれぐらいの企業の誘致を考えておられるのか、また若者達が定住するための魅力ある社会とは働く場所の提供と、娯楽、文化施設もセットで考えるべきと思うが考えを伺いたい。

町長 〓企業が来る時期も、数人、何人ぐらい来るかも全くこれからである。

いを感じたが現在どう考えておられるのか。これから先、町長と一体となって町の財政を取り仕切るゆえに基本的な考えを聞きたい。

総務課長 〓起債は既に借り入れているもの。債務負担行為は今後の負担を全額町が払わなければならないもので、意味合いは違うけど町が負担することは同じ。臨時財政対策債は起債と思っている。

問 〓三月定例会で基金を六年間で十八億円積めるといわれ、平成十九年度は三億円を合併特例債として国から借りる、と答弁されたがこの方針は変わらないのか。

伝統的な芸能、いわゆる地域参画型へ入っていただき、遊戯施設で遊ぶより、魅力を感じるような取り組みをしていきたい。

問 〓政府の経済財政諮問会議は食糧自給率引き上げには限度があり輸入安定供給にはEPAが有効とか、農地の株式会社への所有権の流動化等、地方農業の根幹をゆるがす報告書を出している。グローバル化していく中で、町行政だけでは解決できない事も多いと思うが、この町を、どのような方向で地域づくりを進めるか、基本理念を明確にする事は重要と考える。純農村

総務課長 〓犬童町長の時はそのとおりであったが、今回は財政運営と検討しながら見送った。

問 〓私は財政運営は単年度で考えるべきではなく長期的に考えていかないと大変なことになると思う。六年後は確実に地方交付税は減ってくる。その時に備えて財政計画を抜本的に見直すべきと思うが。

町長 〓基本的な認識は同じで、相当難しい取り組みをこれからしていくことになる。問 〓水上村で裏金づくりが問題となったがあさぎり町はないのか。

町長 〓今のところはない。の町長としての信条を伺う。町長 〓私も大手の会社でほとんど輸出をして仕事をしてきた一員である。その頃から地方が国土を守っていると思っていた。山とか川、田園、ひいては、いろんな資源を守っている。農業には「競争」と「保護」の両方が必要と思う。球磨郡の市町村長と一緒にあって国に対して、農業を守る取り組みを進めたい。



◎皆越区簡易水道の水質改善を早急に！

改善方針を決め区民への説明会を実施したい



溝口 峰男 議員 (上)

問 皆越地区の簡易水道の水質は、濁りとカルシウムが多くて湯沸器や給湯系の配管詰まり、ボルト等には多量のスケールが発生している。早急に対策を講じるべきでは。環境整備課長 現場を調査して濁りやカルシウム、マグネ

◎ブレインの活用が重要と考えるが…

権限と責任を与えてやってもらおう



鏡 與徳 議員 (岡原)

問 新しく町政のトップに立たれて、あらゆる面で愛甲カラーを出していこうとの姿勢で臨まれるのか、あるいは前執行部の政策で良いものは踏襲しようと考えておられるのか。

町長 私は行政経験がないので、現状を冷静に公正に見極めてみた

シウムが高い事を確認している。どの様な方法を持って水質が改善できるか早急に方針を決め住民への説明会を実施したい。

問 小・中学校の通学路危険箇所はPTAで調査し、改善を要望しているがその後の対策とPTAに対する説明はしているのか。

町長 通学路の安全対策は非常に大きな問題と想っている。道路や歩道をきちんと整備をして、子供たちや年配の方々も安心して歩く事ができるよう整備を進めていく。PTAには、今後整備計画を整理して報告する。

問 施政方針で行政への思いが大枠で述べておられるが、問題はその進め方、手法だと思う。町長の仕事は多岐に亘る。経験の乏しい人が成果を出すには、専門的経験を持つ人をうまく使う事が必要だし、ブレインの活用こそが、重要と思うが。

町長 行政でも民間でも、目標を持って進めていくというのは一緒だと思う。しかし進め方、手続き等には大きな違いを感じる。新しい目で見たいところはそのまま進め、違うと思うところは遠慮な

問 家庭教育力の低下が叫ばれている今日、家庭教育十カ条や早寝早起き、朝ごはん運動、ノーテレビデー、ノーゲーム運動を全町挙げて取り組む考えはないか。

町長 子供の教育の基本は家庭にあると思う。上小・中学校等のPTAが実施しているノーテレビ、ノーゲーム運動はとてもいい取り組みと考えている。今後、教育委員会と連携してどのような方法で進めていくか決めていきたい。

問 この四年間の行財政改革の評価と今後の取り組みについて。

町長 行財政改革の効果がよく言っていく様にしたい。私は経験がないので、大枠を決めて後は職員の皆さんに、権限と責任を出るだけ与えてやってもらおうと思っっている。

問 町長の仕事は多忙で、それぞれの決断だと思う。決断にミスが出ない為には、専門的な細部を詰めるブレインが必要だ。しかしブレインたる幹部が次々と辞めていつている。私はある人に「町長は新人だから辞めないで、助言したり支えてやってほしい。それが町の為だから」と説得した。町長は「行政や町内の事に慣れる迄は補佐してほしい」と、どんな事をしてでも残ってもらおう様説得すべきだったのではないか。

れくらいあったのが、今後取り組んでいくうえで大事なポイント。今日迄の行財政改革をきちんと整理をしてさらに一歩踏み込んだ改革ができないか取り組みを進めていく。

問 借金は減らし貯金は増やし、「町民の負担は軽くサービスは高く」との事だが、どのような手法をもって財政運営をしていくのか。

町長 本当に難しい選択をあえて言っている事は良くわかってはいる。バラ色の絵は正直かけないが、町民の皆さんには財政状況についてはわかりやすく説明していきたい。

町長 正直どうしようかと迷った。しかし新しい体制の整備も必要と思っっていたので受理した。問 企業誘致プロジェクトの構想について伺いたい。

町長 まず二〜三名の専任者で、九月にはスタートし、年内に四五名体制でもつてゆきたい。

問 企業誘致はどの町村も大きな願望だ。他の全市町村がライバルである。あさぎり町を選んでもらうためには、企業が「あつ」と思う位の優遇策が必要と思うが。町長 同感である。営業部長という位の肩書きで汗をかきたい。課長位では相手は動かないと思う。トップが行くしかない。

◎長期財政計画は

年内には作成する



松本 光弘 議員
(免田)

問 〓 私の持論である長期財政計画、貸借対照表、行政評価システム作成計画をしないと、あさぎり丸が出航し愛甲船長はなにを基にどこに進むのかわからないと思うが。

町長 〓 あさぎり町が元気を出すために年内までには計画を作成し、

町民と目標を共有し進めたい。

問 〓 自治体研究所にあさぎり町合併後一年間の財政分析をお願いした。その時すでに財政を危惧されていた。この際専門家にも依頼

してその上で計画を立てた方がいいと思うが。何故なら破綻した夕張を例にとると人口が二万三千人、この人口を二万倍すると二億三千万人、日本の人口だ。又、借金が六百三十億円、これを二万倍すると六百三兆円になる。現在日本の借金が八百五十兆円、この数字から見ると日本はとうに破綻している。このように分析のできる専門家に見てもらおう考えは。

で専門家をお願いする。
問 〓 情報化整備事業の取り組みは。
総務課長 〓 現在、上球磨四ヶ町村と消防署で調査中。
問 〓 あさぎり町は人吉球磨で情報化整備が一番遅れている、また二部ISDNの状態、学校教育にも他町村に大きく遅れをとっている。一方他の町村では各学校に光ファイバーが設置してあるところもあり都心部の学校と格差のない情報教育環境が実現できている。あさぎり町でも地上デジタル化により難視聴対策、ブロードバンド未整備問題、防災無線の老朽化など早急な対応をすべきであると考えが。

町長 〓 あさぎり町は確かに遅れている。私もADSLを引ききたかったが二十年遅れのISDNしか出来なかった。構想を練り予算を考えてみる。
問 〓 電算システムの球磨人吉の共有化によりこの費用は簡単に捻出できるはずだ。町長はITの専門家だ。町村会のリーダーシップをとって大きな改革になる電算システムの共有化に取り組んでみては。
町長 〓 大体のイメージは解った。人吉球磨にメインサーバを一個置いて各市町村のサブサーバで対応するやり方だ。確かに経費はかなり安くなる。その前にあさぎり町のコンピュータシステムが複雑で経費がかかるようになってる。まず、ここから取り組みたい。

議員定数及び
議会改革調査特別委員会の報告

平成18年9月に本委員会を設置し、平成19年4月まで6回の検討を重ね、慎重に審議してきた内容を報告する。

議員定数

議員定数は次回選挙以降18名とする。

議会改革

議員報酬

本委員会においては、議員定数と、これに付随する委員会条例や、会議規則を主体に調査することとし、議員報酬については今後の検討課題とする。

政務調査費

政務調査費については、社会全体の動向を考慮して受給しない。

委員会

委員会条例については従来どおり一人一委員会とし、4年間の任期を改め、2年間とする。

会議規則

会議規則については、地方自治法改正に伴う会議規則については、議員による議案提出の賛成者や修正動議の発議者を2人以上と改める。また、議場における規律等についても検討を加え、それぞれ改正を行う事とした。

条 例 改 正

※あさぎり町国民健康保険条例の一部を改正する条例

○上限の世帯が五%を超えたために、最高額五十三万円を五十六万円に改める。

※あさぎり町特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例

○町長給与、七十九万二千元を六十三万三千元に改める。

○副町長給与、六十万八千円を五十四万七千円に改める。

※あさぎり町教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例

○教育長給与、五十三万八千円を五十二万二千元に改める。

※あさぎり町税条例の一部を改正する条例
主なものは

○バリアフリー改修の際、翌年度の固定資産税を13減額するもの。

※あさぎり町手数料条例の一部を改正する条例

○鳥獣飼養登録又は、登録再交付申請手数料を一件三千五百円に改める。

○県から町への権限移譲で、メジロとホーシロの飼養に関する手続きを定めたもの。

※あさぎり町母子家庭医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定

○「母子家庭」を「ひとり親家庭等」に改める。
○熊本県ひとり親家庭等医療費助成事業の実施に伴い、現在の母子家庭医療費助成事業に加え、新たに父子家庭等への医療費助成を行うため。

※あさぎり町重度心身障害者医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定。

○障害者自立支援法の施行により、療養介護医療に係る自己負担額に対する助成については、他の障害者の負担の公平性を保つため、進行性筋萎縮症者に限定しないもの。

※あさぎり町地積調査実施推進委員条例の廃止。

○平成十八年度で地積調査事業が終了したため。

バリアフリー施工後の、段差のなくなったトイレ入口



選挙管理委員会委員(任期四年)

任期満了にともない選挙管理委員会委員に選任することに同意した。

- 塚本 恒夫(再任) 免田西三三四七
- 平川 四富(再任) 須恵三六〇一
- 岡村 孝夫(新任) 深田西七三二・一
- 鶴田 稔彦(新任) 上東二一〇三

選挙管理委員会補充員(任期四年)

- 丸山 春美(新任) 岡原南二四三八
- 桑原 幹男(再任) 免田西一三九五
- 福永 喜一(新任) 深田東五七七
- 北川 一之(新任) 須恵二九五六

教育委員

さかい たかのり
酒井 孝則 氏

前任者の任期満了にともない教育委員に選任することに同意した。



住 所 須恵1614番地
生年月日 昭和25年12月20日

監査委員

おだか まさつぐ
尾鷹 正嗣 氏

前任者の任期満了にともない町監査委員に選任することに同意した。



住 所 免田東1840番地10
生年月日 昭和16年1月4日

町監査委員の選任及び教育委員の一名の任命に同意したが、教育委員一名については反対十二、賛成九で否決した。

一部事務組合議会報告

◎人吉球磨広域行政組合議会

平成十九年三月二十九日(木)

定例会が開催され、十九議案のうち、即日採決の一議案を除く、承認一件、条例改正八件、損害賠償関連二件、十八年度当初予算五件を原案どおり可決。

一般質問では、溝口峰男議員(あさぎり町)が、官制談合防止の具体的取り組み等について、大王英二議員(人吉市)が、赤池地域活性化対策支援事業交付金のあり方について、執行部の考えを質した。

十九年度当初予算

一般会計二億五千六二五万円。食肉センター特別会計八九三万七千円。人吉球磨ふるさと市町村圏特別会計千三二五万五千円。特別養護老人ホーム特別会計三億七千六六七万九千円。

平成十九年五月二十九日(火)

第二回臨時議会が開催され、議長に溝口峰男議員(あさぎり町)、副議長に、人吉市の山下幸一議員が当選。

◎公立多良木病院組合議会

平成十九年五月三十一日(木)

平成十九年第三回臨時議会が開催され、議員選任及び識見者代表監査委員の選任同意について二件、十九年度球磨郡公立多良木病院組合病院事業、介護老人保健施設事業及び総合健診センター事業会計補正予算一件を原案どおり同意、可決。

新組合長の松本昭彦多良木町長が、「全国自治体病院の六十五・五%が赤字経営。当院もこれまでは安定的に推移してきた。しかし、十八年四月の診療報酬減額により、一転苦境に立たされているが、地域の医療水準の向上に寄与していく。」と挨拶された。

議長に豊永隆一議員(あさぎり町)。副議長に味岡茂議員(多良木町)が指名推薦で当選。

◎川辺川総合土地改良事業組合議会

平成十九年三月二十六日(月)

平成十九年第二回臨時議会が開催され、収入役にあさぎり町収入役の山本栄蔵氏が選任された。

平成十九年六月五日(火)

平成十九年第三回臨時議会が開催され、議長に、山下幸一議員(人吉市)。監査委員に橋爪和彦議員(あさぎり町)が選任された。

六月一日付での、山本収入役の退職にともない、総務省の見解をもとに、内山組合長(山江村長)が、出納責任者を当分の間兼務する事に決定した。

◎上球磨消防組合議会

平成十九年五月二十五日(金)

平成十九年第一回臨時議会が開催され、多良木町より、森下孝幸。坂本一郎両議員。

水上村より、松下幸郎議員が再任。副議長に森下孝幸議員、監査委員に松下幸郎議員が選任された。

常任委員会活動

◎ 総務、文教常任委員会

平成十九年五月三十日（水）

免田中学校、須恵小学校の図書室を視察調査。免田中学校は、一名の司書補が今年から配置され、大変良い環境になったとのこと。須恵小学校は、司書補が、中学校と兼務。同小学校は四人のボランティアが本の読み聞かせをし、本に親しむ子供が着実に増している、と説明があった。

消防設備の現状調査

消防詰所は、町内五十九箇所。上、免田、岡原地区は、合併前に全詰所整備。須恵地区は、十一詰所中老朽化が三詰所。便所未設置八詰所。深田地区は、八詰所中老朽化が六詰所、便所未設置八詰所。整備済みの地区と比較して団員の処遇に大きな格差が生じている。

町内には、六百余りの消火栓を設置。上、免田、岡原地区は、全消火栓に格納箱一式が整備されている。須恵地区では消火栓六十二基中十箇所、深田地区では消火栓百四基中二十三箇所に設置してあるが、百二十基以上が未設置のままである。早急な消火栓、消防詰所の整備が望まれる。

◎ 建設、経済常任委員会

平成十九年四月二十七日（金）

1 町営住宅の管理状況

上地区の上西団地昭和五十六年建築、入居世帯二十三戸。免田地区の下道団地昭和四十八年建築、入居世帯七十二戸。須恵地区の丸尾団地昭和四十八年建築、入居世帯六戸。どの団地も満室。

2 中山間地域整備事業、担い手育成整備事業に該当しない隣接地の今後の取り組みについて。

町単独事業では、農家個人の負担がある為、現在有利な補助事業を模索中という事。

3 林道黒原線災害復旧事業について調査。

林道黒原線は、十八年度繰越事業、現在工事中。

◎ 厚生常任委員会

平成十九年五月二十九日（火）

障害者福祉の新規事業の調査

人吉・球磨における自立支援法の問題調査

十九年度からの軽減措置として、一割負担の上限額の引き上げが、現行は $\frac{1}{2}$ だったのが、 $\frac{1}{4}$ となった。ある新聞記事で、「自立支援法は障害者の自立を支援しているのではなく、自立を阻害している」との内容で掲載されており、今後も、引き続き調査が必要であるという委員会の結論。



須恵丸尾団地



老朽化した詰所

大人の常識、子供の非常識

岡原北 松本健一郎



町民の声

私が子供の頃、大人が謝罪している場面を見る事は殆どなかった様に思います。

ところが、最近のテレビやニュースの中では、犯罪、政治資金疑惑、汚職、会社の偽装工作等々、連日の様に報道される場面ばかりが目につき、うんざりしています。子供達が、そのような報道を見てどのように思うのか。「あのよくな人間にはならないぞ。」と思ってくればいいのですが、「大人もあんな悪い事をするんだ。」と思っているのではないかと、心配でなりません。

人間自身が病んでいる様で仕方がありません。そのような大人が本当に子供達を育てていいのか疑問です。

「最近の若者は、……。」と聞く事がありますが、私は、あまりこの様な言い方は、好きではありません。逆に、「その若者達を育てて来たのは、あなた達では

ないのですか。」と聞きたい。私は、今の若者や子供達について、悲観的ではありません。町の行事、学校の行事にも積極的に参加し、勉強・スポーツ・部活動等にも頑張っている。色々な事を経験し、その中で人間関係も学んでいる。そんな若者や子供達に対して、将来を楽しみにしています。あざざり町のみならず、子供達は、宝であり、その子供達に夢を与えられるのか

は、親家族であり、学校を含む地域住民にかかっていると思います。子供が、悪い事をしたら叱る。良い事をしたら誉める。この様な常識の中で、子供達も、本当の常識を理解し、正しい行動を取る様になると思います。そのためには町議の方々も、先頭に立って常識ある町政運営を実施され、又、柵（しがらみ）の無い、議会を町

民のため、子供達のために行って頂きたいと思います。私の座右の銘は、鶏口牛後（鶏口となるも牛後となるなかれ）であります。私は、依頼を受けた仕事に対して誠実な仕事をすれば、きっと喜んで頂けるという信念で働いています。自分の姿を我が子を感じ取ってくればと思います。子供達の未来に乾杯。



子ども達の未来に夢を

編集後記

梅雨の最中、台風四号が九州を直撃しましたが、我地域は無事通過してくれました。災害に見舞われた被災地におかれましては、心より御見舞い申し上げます。

今六月定例議会は、愛甲新町長就任後初めてでした。十三日、十五日は一般質問が行われ、延べ九十八名の町民の方が傍聴に来て頂きました。初日は、特別席まで設置され、あざざり町議会スタート以来新記録を出す盛況ぶり。改めて、町民の関心の高さに驚きと議会の責任を再認識したしいでした。地方分権の進む中で、町民の関心が高まる事は大変喜ばしいことと思います。

議会だよりも回を重ねてまいりましたが、今後も町民の皆さんのご愛読宜しく願います。

今夏の子報も猛暑が続くとの事、どうか町民の皆さん健康には充分注意されお過ごし下さい。

広報委員 久保田久男